



中尾 美恵氏

一人の役に立ちたい

一中国帰国者の会国立生活相談室で通訳ボランティアを始めたきっかけを教えてください。

平成13年に夫が大学院を卒業し、就職のため府中市に引っ越してきました。その際、国立市公民館の日本語講座に参加した時、公民館だよりで生活相談室を知って、日本語をもっと勉強するために入りました。その時、この相談室を運営している帰国者の会は、会長の鈴木則子さんを含めて3人の残留婦人が戦後国家賠償訴訟をやり始めるところで、自分も帰国者の二世として、生まれた背景と歴史について知りたくて、会の方たちと一緒に勉強しながら、訴訟法廷外の説明の通訳から活動にも参加しました。この活動を通して自分自身の成長になりました。

一中国帰国者の会国立相談室で活動されている内容を教えてください。

長年、帰国者の会の相談室活動に参加している国立市民も何名かいるので、日本語の勉強をすることができます。帰国者の一番難しい事は言葉です。入国管理局の在留資格更新、家族の呼び寄せ手続きをはじめ、許可をもらえなかった理由を聞きに行く、仕事の紹介、書類を翻訳したり、病院の付き添い、アパート探し、都営住宅の申し込みなどを行っています。毎年、色々と帰国者と関係がある憲法、法律も一緒に勉強しています。

一中国から日本へ来た際、一番印象的だったことを教えてください。

日本の町と空気がきれいです。ロシアの隣にあった私の故郷より緑が多いように感じます。田んぼと高いビルと一緒に存在するのも不思議です。

夜間ボランティアで日本語の勉強できたことは幸せなことでした。教室の先生たちが親切で教えてくださいましたことは一生忘れないです。その経験が、自分も人の役に立つことをやりたいと思い、ボランティア活動を行っています。

一国立市の印象を教えてください。

国立市は文教の街として有名です。駅前の大学通りをはじめ、まっすぐの道が多いところが大好きです。

公民館は無料で利用できることも助かります。帰国者の会の相談室は30年以上利用しているので、たくさんの方々が相談できることは幸せです。一橋大学に留学している中国人の知り合いも増えました。公民館で行われている相談室以外、平成22年からできた音楽グループも帰国者の居場所となっています。国立市での生活はとても楽しいです。

一今後、挑戦してみたいことなどありますか。

戦争のせいで私たち帰国者の問題が発生し、何十年も解決していません。今も苦しんでいる帰国者がたくさんいます。帰国して色んな壁にぶつかりながら、70代になった二世もいます。在留資格や都営住宅の入居問題、年金制度、中国語のできる介護施設など問題は山積みです。これらの問題を有識者と一緒に解決すべく頑張っていきたいと思います。



▲音楽の集いに参加されたみなさん

中尾 美恵（なかお みえ）氏

昭和43年5月生

平成13年～現在 中国帰国者の会国立生活相談室で通訳、
ボランティア活動始める

平成20年～現在 国立市役所にて中国残留邦人等の支援、相談員を担当